

ふくしま 再生 短信

2015 12 / 29 第 10 号



【空撮は吉澤匡さん】9月20日比曽地区を望む。右下に「仮置き場」が展開。点在する小さな森は居久根（いぐね）。

✕ 比曽の大地と空と ✕

2015年9月20日、この日ふくしま再生の会のメンバーは菅野啓一さんと協働して比曽地区の環境モニタリングのためにDIS線量計設置作業を実施した。啓一さんの居宅内、居久根、ハウス、氏神様参道、水田、などに設置した（上の写真は居久根の作業、左が啓一さん）。啓一さんは「現在の国のやり方では放射線量は下がらない」と言う。しかし長期的には除染の実現のために国の

支援が絶対に必要だからこそ自ら信頼出来るデータの裏付けをとって国と交渉をしたい。この日、啓一さんの強い希望で再生の会メンバー・吉澤匡さんによる空撮が行われた。

12月5日、啓一さん再訪。比曽は早くも銀世界。「空撮の目的は比曽地区の今を後世の人たちに伝えることである。居久根は農家の退職金・宝である。第2次実験小屋は居久根の影響を調べることで環境省への圧力になる。花の栽培で世界

の人を集めたい」と啓一さんは言う。（文責&空撮を除く撮影・若林一平）



啓一さん

つくばのKEK（高エネルギー加速器研究機構）提供のDIS線量計を設置した自宅内で語る比曽地区の菅野啓一さん（写真上）は自宅裏の居久根の除染実験、またキャタピラの大型重機を駆使して水田の除染にも取り組む行動の人である。



【実験小屋の写真（左から）】基礎工事（11/7）、完成した小屋の外観（12/5）、小屋の内部（12/5）

再生の会・第2次実験小屋

第1次実験小屋は佐須地区に設営され、放射線の土壌遮蔽や木材の活用に向けて、貴重なデータを取得した後に解体、比曽地区に第2次実験小屋を新設した。詳細は「ふくしま再生の会・

facebook」へ：<https://www.facebook.com/FukushimaSaisei>